

【授業科目】 研究基礎演習 Practice of Basic research

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
星野 真理、高崎 昭彦、千原 猛 森 啓至、森本 誠、小菅 優子、杉浦 諭 山口 央輝、榎本 喜彦、大島 茂、澤田 浩秀	3年次 後期	必修	2	60	演習	あり	巻末 掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する フィードバック方法	<p>授業概要／卒業研究の前段階として必要な知識・技術の習得を目的とする。 研究は、1) 研究テーマ決め、2) テーマに合わせた論文等での情報収集、3) 情報に基づいた研究計画の立案、4) 実験および調査、5) データ整理、6) 研究発表用資料の作成、7) 研究発表、8) 研究論文の作成の一連の過程がある。 その過程に必要なテーマの探し方、論文からの情報収集の仕方、立案の仕方、実験方法、データ処理に必要な統計などの知識・技術について教授する。 課題に対するフィードバック方法／提出されたレポートにコメントをつけて返却する。提出された課題について、全体の総評コメントを掲示にて公開する</p>							
実務経験に関する 授業内容	<p>研究経験をもつ教員が、研究者として必要な、各担当教員それぞれが持つ専門研究に関する知識について、専門研究に関する資料・教材を交えながら指導していく科目である。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	<p>①研究の流れを理解し、次のステップの卒業研究に生かす。 ②英文論文の理解ができる。 ③卒業研究発表のためのプレゼンテーション技術を習得する。</p>							
時間外学習に 必要な学修内容 および学習上の助言	<p>研究には論文抄読が必須なため、英文読解力をつけておきましょう。</p> <p>第1回～30回 事前学修：指定の教科書を事前に読んでおく（各30分） 第1回～30回 事後学修：各回での学びを復習することで確認し、解らなかつたことは調べ教員に質問する（各30分） ※その他に、講義で学んだことを振り返るための課題を課すことがある（各60分）。 上記例は、1単位30回科目の場合で、予習+復習に必用な時間は、1時間／1回となる。</p> <p>※上記時間については、指定された学修課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 研究に関する情報収集方法、論文検索の仕方 第 2-7 回 臨床検査学各分野と担当教員の研究紹介 第 8 回 研究倫理について 第 9～25 回 研究計画の立案、実験および調査、研究、データ整理について 第 26～29 回 英文抄読・発表準備 第 30 回 英語論文の紹介発表会</p>						<p>担当教員がそれぞれ クラスごとにすべて の回を担当</p>	
評価方法 評価基準	<p>成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。授業毎の課題レポート 50%、発表 50%</p>							
教科書	プリントを配付します。			参考書等		なし		
学生への メッセージ	<p>研究倫理に関する内容をしっかり理解し、研究方法、研究結果のまとめ方など卒業研究に向けた準備をしてください。</p>							